



浜水高

図書館だより

あけまして おめでとうございます

今年も浜水高図書館をよろしくお願ひします。生徒のみなさんにとって心地よい図書館であるよう努力していきたいと思っています。

アンケートに協力してください

島根県の高等学校図書館研究会から生徒の皆さんへのアンケートの依頼がありました。1月16日（月）～20日（金）の朝礼時に実施しますので協力してください。

新聞を読もう

本校では読売新聞、朝日新聞、山陰中央新報の3つの新聞を購読しています。新聞そのものには間違ったことは書いてありませんが、各新聞社によってどの記事を重点的に取り上げているかや、同じ記事でも書き方による印象は変わってきます。1紙だけではなく複数の新聞を読み比べてみることは良い勉強になります。

新聞には全国紙、ブロック紙、地方紙があります。

全国紙には読売新聞、朝日新聞、毎日新聞の三大紙と、三大紙に日本経済新聞と産経新聞を加えた五大紙があります。特に読売新聞は世界でも有数の発行部数をほこっています。

全国紙

読売新聞 朝日新聞 毎日新聞 (三大紙)
日本経済新聞 産経新聞

ブロック紙は地方紙より広い範囲を販売エリアにしている新聞で、北海道新聞、中日新聞、西日本新聞がこれにあたります。中国新聞は広島県全域の他、島根県、山口県、岡山県も販売エリアに含まれているのでブロック紙に準ずるものとして考えられています。

ブロック紙

北海道新聞
中日新聞 (愛知県・岐阜県・三重県・静岡県)
西日本新聞 (福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県)
※河北新報 (宮城県中心) 中国新聞 (広島県中心) はブロック紙に準ずる

地方紙は県紙とも呼ばれ一つの県を中心に購読されているものです。
中国地方の地方紙には次のものがあります。

島根県	山陰中央新報	鳥取県西部 (米子市周辺) にも販売エリアがある
広島県	中国新聞	島根県 山口県 岡山県にも販売エリアがある
岡山県	山陽新聞	広島県 (福山市周辺) の一部にも販売エリアがある
山口県	山口新聞	
鳥取県	日本海新聞	兵庫県北部 (但馬地方) にも販売エリアがある

地方紙は、その地方の記事以外の全国ニュース、国際ニュースは共同通信社や時事通信社から記事が提供されています。

ニュースを読む

2022 流行語大賞

(2022.12.1 読売新聞)

今年(2022年)話題になった言葉を選ぶ「2022ユーキャン新語・流行語大賞」(「現代用語の基礎知識」選)が1日発表され、年間大賞にプロ野球・東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手(22)の活躍ぶりを表した「村神様」が選ばれた。

トップ10には、安倍晋三・元首相の銃撃事件後に注目された「国葬儀」や「宗教2世」のほか、ロシアによる侵略が続くウクライナの首都「キーウ」などが選ばれた。

《年間大賞》

○村神様

プロ野球・東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手の活躍をたたえる呼び方

《トップテン》

○キーウ

ウクライナの首都。ロシアのウクライナ侵攻を受け、ウクライナ語に基づく読み方に変更された

○きつねダンス

プロ野球・北海道日本ハムファイターズのファイターズガールによる応援ダンス。「The Fox」という曲に合わせて踊る

○国葬儀

国費で実施される葬儀。首相経験者としては55年ぶりとなる安倍晋三元首相の国葬儀を実施

○宗教2世

特定の信仰をもつ親や家族と、その教えの影響を受けて育った子ども世代のこと

○知らんけど

主に関西地方で話の終わりに付けて断定を避ける表現。若い世代で流行

○スマホショルダー

男女の幅広い世代で流行した、肩からスマートフォンを斜め掛けできるアイテム

○てまえどり

食品ロス軽減の観点から、スーパーなどで商品棚の「手前」から商品を選んでもらうようにする取り組み

○ヤクルト 1000

乳酸菌飲料。効果を報告する投稿が相次ぎ品薄状態が続いた

○悪い円安

歴史的な円安に伴う物価高に対する消費者感情を表した言葉

《選考委員特別賞》

○青春って、すごく密なので

仙台育英を東北勢で初の優勝に導いた須江監督の言葉。

遊覧船から「エンジンが止まり動けない」と通報、
観光客9人が乗船 漁船が救助に

(2022.12.14 山陰中央新報)

13日午前9時半ごろ、島根県隠岐の島町の西郷湾内を航行中の遊覧船（1・7トン）から「エンジンが止まり動けない」と118番があった。隠岐海上保安署の小型艇と近くの漁船が救助に向かい、同10時ごろにしげさ丸のエンジンが再起動。自力で岸壁に戻った。

同署によると、エンジンは船外機で、遊覧船は同9時ごろから八尾川や西郷港を周遊していた。船長とガイドが各1人、観光客9人が乗船しており、けが人はいなかった。

駒大が箱根V、駅伝3冠

(2023.1.4 朝日新聞)

第99回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は3日、神奈川・芦ノ湖から東京・大手町までの復路（5区間、109・6キロ）があり、駒澤大学が10時間47分11秒で2年ぶり8度目の総合優勝を果たした。昨秋の出雲駅伝、全日本大学駅伝と合わせた3冠を達成。3冠達成は2016年度の青学大に続く史上5校目となった…